YAMAGATA★IBUKI Vol.152

山形いぶき

YNA　夢・ナーシング・愛

医療法人健友会 本間病院

本間病院は、急性期治療後の後方支援の機能として、回復期・慢性期の治療を引き継ぎ、介護施設や在宅へつないでいくという役割を持つ病院です。1年前にオープンした「本間なかまちクリニック」は70床で地域の透析医療を担っています。4月には日本海ヘルスケアネット内で統合し「訪問看護ステーションスワン」を再編しスタートしました。

今後も患者・利用者さんを中心とした医療・介護の提供を実践できるよう取り組んでいきます。

看護部長　齋藤　由紀

TOPICS

- 令和3年を迎えて
- 「福島県外避難者の心のケア」事業における「まちの保健室」活動を通して
- 保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能だより
- 年女年男の今年の抱負
- 支部の活動状況
- ナースセンターだより

令和3年度「日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会」

- 期 日：令和3年6月9日(水)・10日(木)
- 場 所：千葉県千葉市 幕張メッセ

令和3年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 期 日：令和3年6月18日(金)
- 場 所：山形県看護協会会館・看護研修センター

令和2年度
会員数（1月現在）

保健師	368
助産師	367
看護師	6,983
准看護師	162
計	7,880

公益社団法人 山形県看護協会
ホームページ　http://www.nurse-yamagata.or.jp
山形県看護協会
県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。機種によってはアクセスできない場合があります。

「令和3年を迎えて」

―― 希望を持って看護の力で新型コロナウイルス感染症を共に乗り越えよう ――

公益社団法人　山形県看護協会　会長　井上　栄子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がこれまでにない勢いで拡大しています。1日の新規陽性者数は、全国各地で最大値が更新されているという状況です。山形県においても、400人を超え、医療の現場では極めて緊迫した状況が続いています。

看護職の皆様は、自分が感染するのではないか、家族に感染させるのではないかという不安を持ちながら、24時間365日患者のそばで、真摯に新型コロナ感染症と向き合っておられ、献身的な努力と使命感で看護されていることに敬意を表します。

当協会では、令和2年6月に新型コロナウイルス感染症の実態調査を行いました。病院、訪問看護ステーションの経営悪化、第3の感染症「嫌悪・差別・偏見」がありながらも、懸命に頑張っている看護職の実態があり、看護管理者は強いリーダーシップを発揮して対応されていました。その結果を受け、危険手当て（特殊勤務手当）、宿泊施設に対する補助、慰労金等の要望書を県に提出し、追加予算で認めていただきました。また、県・保健所保健師及び市町村保健師の確保及び保健所の体制整備と保健師の慰労金の給付について要望し、感染対策の研修やマスコミへの情報発信、防具の医療機関等への配布等に取り組んできました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、8月から事業・研修等を開始いたしました。オンライン研修・会議導入のために、機材の購入やZoom ProLicenseの契約、協会内のネットワークの環境整備等を実施しました。また、研修受講料のコンビニ支払い、新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊施設における療養ナースの派遣、看護師等養成所実習補完事業等など対応しています。

今年度新たな事業として、認定看護師等活用事業、訪問看護サービス事業者支援事業「専門看護師・認定看護師等派遣事業」、訪問看護担い手創出事業（短期体験型の実技支援）、日本看護協会の委託事業としては、地域に必要な看護職の確保推進事業、訪問看護総合支援事業と、職員が力を合わせて看護職の看護の質の向上や人材確保のための事業を展開しています。ご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。

昨年11月の第51回日本看護学会―在宅看護―学術集会は、テーマ「人生100年時代の在宅看護～生きる力と暮らしをつくる～」としてweb開催となり、日本看護協会との共催で無事終了することができました。これも会員の皆様と関係者の皆様のご支援の賜物とこころから感謝申し上げます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの進展に向けて、医療・看護が大きく変化する中で、看護職が専門性を発揮し、「あらゆる場、あらゆる人に対する良質な看護の提供」が求められ、看護職に対する期待が大きくなっています。

当協会は、看護職が希望を持って看護の力で新型コロナウイルス感染症を乗り越えられるように、今後も現場の声を受け止め、看護職の皆様が安心して働くことができるよう最大限の努力をしてまいります。

新しい年が皆様にとって幸多き年でありますことを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

新規事業「地域に必要な看護職確保推進事業」について

置賜地域ワーキンググループ

山形県看護協会では、地域医療構想の実現に向けた病床機能分化連携に伴う再編等がすすんでおり、看護職の労働力移動による看護職の潜在化が懸念されることや、置賜地域の求人登録者数に対する就業率が県内４地域内を比較しても低い現状であることから、対象地域を置賜地域とし、日本看護協会の委託事業「地域に必要な看護職確保推進事業」に取り組むことにしました。

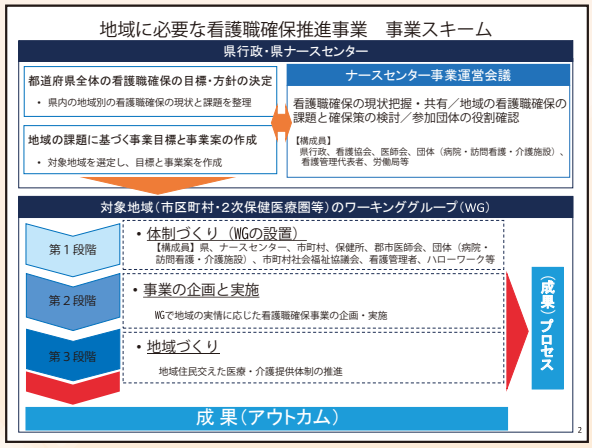
事業目標

医療・介護提供体制の充実に向けて看護職の労働力移動を実現する

課題解決に向けた事業

1) 病床機能分化連携にともなう再編に向けた課題の整理および事業計画・実施
2) 看護職の安定確保・定着促進
―病床機能分化連携にともなう再編への看護職確保支援事業―
3) 求人施設への看護職確保事業

今年度は置賜地域の看護職需要施設実態調査（実施期間：2020年10月8日(木)～10月31日(土)）を実施し、第１段階の体制づくりとして、ワーキンググループを設置し2020年12月9日(水)に開催しました。今後、置賜地域の看護職を対象に就業状況やセカンドキャリアについてのアンケート調査等を実施し、看護職の安定確保・定着促進に向けた支援を行っていきます。



「地域に必要な看護職確保推進事業」
事業スキーム

「福島県外避難者の心のケア」事業における「まちの保健室」活動を通して

10年目を迎える避難者支援

活動場所：山形市
「まちの保健室」支援者　五十嵐明美

私は、2014年から「まちの保健室」のボランティアとして活動に携わっています。現在は、山形市避難者交流支援センターが活動の場になっています。健康チェックを切り口に、データから読み取れる事の説明やアドバイス、普段の心配ごとまで「よろず相談」に応じております。最近は、新型コロナウイルス感染症もあり手洗いの啓発活動の一環で効果的な手洗い方法も指導しています。活動終了後は、支援センター職員の方と情報交換をおこない問題の共有を図り今後の関わり方の確認をしています。

3・11東日本大震災から10年目を迎え避難されている方の置かれている現状も少しずつ変化しています。避難している方の高齢化、子育て世帯が抱える進学の問題等々、その事が生活上に新たな不安をもたらしています。昨年7月の避難者アンケート調査の結果でも6割の方が心身に何らかの不調を抱えていると答えています。避難先のこの地域で安心して生活をしていただく為に「まちの保健室」を通して今後も健康づくりのサポートを続けていきたいと考えています。

米沢市における「まちの保健室」開催

活動場所：米沢市
「まちの保健室」支援者　金子富美子

米沢市での避難者支援「まちの保健室」は、2014年4月より活動しております。

2011年5月から万世コミセンで週1回生協を利用する仲間（ボランティア）で「きっさ万世」としてお茶会を開催していたところに合流して、第3水曜日に健康チェック、健康相談、ハンドマッサージをさせて頂いております。

毎回、避難者、行政、各支援団体、ボランティアの方等14名～20数名が集まります。月に1度の参加ですが、長くなっているので顔なじみの方々ばかりで私達も懐かしいお顔にお会いできる嬉しい場となっています。

健康チェックの結果を健康手帳に記載して、前回との変化から心身の状態や生活の様子を話し合ったりしています。「こうして数字に出てくると励みになる」「月1回測定してもらっているんだから教えてもらった事を頑張っている」「運動不足型から標準型になった！」等の声も聞かれます。

「きっさ万世」という話せる場の中で、定期的な「まちの保健室」開催は、少なからず心身の健康支援の役割を果たせていたのではないかと感じています。

避難者支援　～社会福祉協議会との二人三脚～

活動場所：鶴岡市
「まちの保健室」支援者　佐藤千鶴子

2011年の東日本大震災からまもなく10年の年月が流れようとしています。現在、鶴岡市には95名の方が避難し生活されています。

私たち看護師2名は、県の看護協会として鶴岡市社会福祉協議会生活支援相談員と一緒に一人暮らしの高齢者と交流を深める会「にこにこ交流塾」に参加しています。この会は、高齢者同士の交流を深め、不安や悩みの軽減を図り、前向きに鶴岡で生活する事を目的に開始されました。特別なことではなく顔を見て話すこと、一緒に出かけ会食をする中で、日々の暮らしぶり、体調の変化や心配事などを傾聴してきました。また、生活支援相談員の見守り訪問や電話相談の中から、気になる健康問題の相談、年1回の全戸訪問に同行しています。

県の防災くらし安心部が行った避難者アンケートによりますと、高齢者が生活するうえでの困りごと・不安なことの多くは「健康に関する事」でした。交通手段も限られ一人暮らしの方は相談する人、頼りにできる人が少ない状況におかれています。今後も看護職として社会福祉協議会と情報を共有し、避難者の方々が体もこころも元気に生活できることを願って小さな活動をしていきます。

保健師職能だより

保健師職能研修会を開催しました

保健師職能委員長 山田　晴美

保健師職能研修会

開催日：令和２年10月３日(土)
テーマ：「災害と新型コロナウイルス感染症への対応」
講　師：「7月大雨時の対応を振り返って～保健師として何ができたか～」
河北町健康福祉課 総括主任 **伊藤　千春**氏
「災害時保健活動の優先順位～新型コロナウイルス感染症対策も踏まえて～」
山形県立中央病院 副院長 **森野　一真**氏

ZOOM研修

去る10月３日、「災害と新型コロナウイルス感染症への対応」をテーマに、ZOOMを活用した「保健師職能研修会」を開催しました。

伊藤さんのお話からは、被災者健康状況訪問等、保健師にとって大切な活動の様子をイメージすることができました。そして、山形県統括災害医療コーディネーター、山形県新型コロナウイルス感染症患者受入調整本部アドバイザーとして、県の災害医療や新型コロナ対策の最先端で活躍されておられる森野先生からは、ご経験に基づいたタイムリーな貴重なお話を伺うことができました。今回、初めてZOOMを活用しましたが、82名という多くの方が参加し、大変有意義な研修会となりました。

参加者のアンケートでは、回答者の９割以上が「研修内容とニーズが合っていた」「実践活用できる、だいたいできる」と回答し、「ZOOMによるオンライン研修は、遠方でも参加できるのでよかった」「毎年災害対応がある中、このような研修を企画してもらい本当によかった」など、高評価の意見が多数寄せられました。７割以上がZOOMでの参加となり、会場への移動時間をかけずに受講でき好評であった反面、通信トラブル等の課題が残りました。

来年度の研修会も、感染症予防を含んだ災害支援の内容の企画を考えております。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いします。

助産師職能だより

助産師職能研修会を開催しました

助産師職能委員長 佐藤　清美

助産師職能研修会

開催日：令和２年10月10日(土)
テーマ：「妊産婦メンタルヘルスを学び、産前・産後ケアの充実を図る」
講　師：社会福祉法人恩賜財団済生会横浜東部病院 助産師
臨床心理士 公認心理士 **相川　祐里**氏

ZOOM初体験！

コロナ禍で多数の研修会が中止や延期となりました。その中で、今年度の助産師職能研修会はCLoCMiPレベルⅢ更新・新規申請に向け、ウイメンズヘルスケア区分である妊産婦のメンタルヘルスについて、助産師であり公認心理士の相川祐里氏によりZOOMを利用して開催しました。参加者57名のうちZOOMでの参加者が28名で、予定を超える参加人数となりました。聞きたい内容や質問などを盛り込んだ内容で、参加しやすい形態であり、助産師だけでなく行政の担当者や看護師にも参加いただき、皆様方の関心の高さを感じています。今後もCLoCMiPレベルⅢ更新・新規申請に向けた研修会開催や、皆様方に役立つ情報の発信などをおこなっていきたいと考えています。

看護師職能Ⅰだより

「患者の身体拘束・身体抑制の現状」に関する現状調査を行って

看護師職能委員会Ⅰ 副委員長 佐藤 聡美

患者の身体拘束･身体抑制について医療現場での関心が高まっていることから、看護師職能委員会Ⅰでは、2019年度「身体拘束をしない看護～身体拘束ゼロをめざして～」の研修を開催し、身体抑制に頼らない、生きるときを創る看護のあり方を見つめ直しました。さらに今回県内67病院の看護管理者を対象に「患者の身体拘束・身体抑制の現状調査」を実施しました。

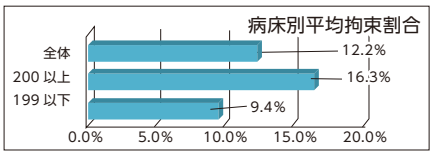
1 目的 県内病院の身体拘束・身体抑制の現状を把握し、今後の活動の基本資料および施策に活用する

2 調査期間 令和２年９月1日～９月14日

3 調査対象 県内67病院の看護管理者

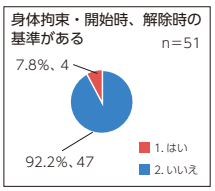
4 調査方法 調査票をメールで送信しファックスにて返送

5 結果 67病院中51病院より回答（回収率76.1%）

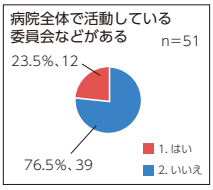


患者に直接、拘束具を装着する割合は、平均12.2%。
患者の生命または身体が危険にさらされる可能性が高く、「切迫性」「非代替性」「一時性」に当てはまる時に身体拘束が行われている。

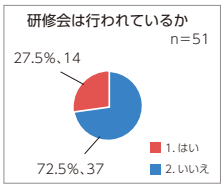
基準（手順）があると回答した病院は47病院（92.2%）。具体的には、患者・家族に説明と同意を得て医師の指示にて開始し、解除のためのカンファレンスを実施。カンファレンス内容や患者の状況・反応、拘束方法など記録に残す内容の基準が多い。



病院全体で活動している委員会などがある病院は、39病院（76.5%）。
医療安全、認知症ケア、行動抑制最小委員会などが多い。



研修を行っていると回答した病院は、37病院（72.5%）。身体拘束・身体抑制をしない看護の取り組みや認知症患者対応、せん妄予防、倫理研修などの研修を行っている。



6 まとめ

今回の調査を通して、医療安全と患者尊厳の保持、倫理観をもって安易に身体拘束・抑制を行わない組織風土づくりが課題と考えていること、身体拘束の疑似体験や事例などを通して身体拘束ゼロに向けた取り組みについての研修を希望していることがわかりました。

また、様々なジレンマを抱えながら看護を行っていること、患者を尊重した看護の質の向上のため日々取り組みを行っていることなども知ることができました。これらの結果を、今後の活動に活かしていきたいと思います。ご協力に感謝致します。

看護師職能Ⅱだより

感染対策を行いながら行ったコロナ禍での研修会
～高齢者の足病変とフットケアの実際～

看護師職能Ⅱ委員長 伊藤 満生

看護師職能Ⅱ研修会

開催日：令和２年10月10日(土)
テーマ：「高齢者の足病変とフットケアの実際」
講　師：フットケアセンター山形 一般社団法人フットヘルパー協会顧問理事
一般社団法人日本トータルフットマネジメント協会 大場　広美氏

看護師職能委員会Ⅱでは、新型コロナウィルス感染拡大予防を踏まえながら、昨年大好評だったフットケアの研修会を開催し、新型コロナウィルス感染症拡大の中の研修会開催ということで、密を避け、通常234名は入る研修室でテーブル１つに１名とし57名の参加者で行いました。研修会に参加希望された方も途中でお断りする場面もあったかと思い、申し訳なく感じています。

感染対策は看護協会のマニュアルに準じて実施させていただきました。換気も１時間毎に行い、事前に必要物品を知らせごみなどは、各自袋に入れてもらったものを集めるなど、対策を行いました。

研修会はフットケアということで、実演や演習は欠かせないものですが、他者への実演は密となるため、スライドや動画を見ながら自分の足に実際にゾンデをあてたり爪切りでカットしました。実際に個別に指導を近くでできないと先生は悔しがっておられましたが、受講者のアンケートでは満足度が高い結果となっていました。

今回も在宅領域の看護師の方より臨床の看護師の希望者が多く、改めて現場での必要性や重要な視点であることを確認できました。今後の看護活動に活かせる研修会の企画や、在宅領域の看護師が参加しやすい研修形態を考えていければと思います。

20 年女 今年

今年の抱負

山形済生病院　佐藤 恵子

私は認知症看護認定看護師になり今年で３年目を迎えます。現在は認知症ケアチームでの活動と病棟業務の両立に悩みながら仕事をしている状況です。今年は認知症の患者さんが、安心して入院生活を送ることができるように、チームとして何ができるのかを考えながら活動したいと思っています。また病棟スタッフが働きやすいように環境を整え、そして自分自身も楽しく笑顔で仕事をしたいと思っています。

今、これから。

天童市民病院　鈴木 正子

新型コロナウイルスの影響で面会が制限され、家族となかなか会えない状況が続いています。でも入院中、家族との関わりは本人にも家族にもとても大切。少しでもその不安や寂しさを減らし、安心して治療が受けられ快適に入院生活を送ることができるようにゆっくり、じっくりお話をする時間を作ることを心がけています。未来を案じて悩んだりされないよう私が軸となって支え、今を生きていけるよう今年も寄り添っていきたいと思います。

健康第一に和顔愛語で

北村山公立病院 髙橋 けい

月日が経つのはあっという間です。何十年も前の話になりますが、高校の恩師より、「和顔愛語、あなたはこのまま笑顔でいてくださいね」と言葉を頂きました。月日は経ちましたが、看護師となりこの言葉はいつも頭の片隅にあります。2020年はコロナ禍で規制や自粛と大変困難な年でありましたが、2021年は健康を第一に考え、新しいことへの挑戦と、より一層おだやかな笑顔（和顔）と思いやりのある話し方（愛語）を心がけていきたいです。

今年こそは自分の時間を!

山形県立新庄病院　橋見裕美子

今年の新年の抱負は「自分の時間をつくること」です。一昨年育児休暇から復帰し、手術室配属になりました。毎日違う手術に入るため、覚えることも多く仕事で精一杯でしたが、仕事が終われば家事と育児に追われ、あっという間に２年が過ぎようとしています。

今年は仕事と育児の両立の生活に余裕が持てたら、少し早起きしたり子供が寝たあとなど時間をつくり、自分の好きなことをしてリフレッシュしたいです。そして仕事も私生活も充実できたらと思います。

2021年の抱負

山形県立河北病院　須藤 初美

私は2020年より看護師として入職し、日々業務に励んでまいりました。不安と緊張を感じることも多々ありました。しかし、ともに頑張る同期の存在や、先輩方のご指導や励ましもあり、頑張ってくることができました。2021年は年女として飛躍の年となるよう自己研鑽に努め知識、技術ともに向上させていきたいです。また、面会制限が続くこのコロナ禍でも安心して治療を受けられるよう患者さんやその家族との関わりも大切にしていきたいです。

賀正

21年 年男の抱負

今年の抱負

鶴岡市立荘内病院　小池　和

私は、整形外科・泌尿器科入院棟で働き３年目になりました。日々の看護では、自分の意見を発信することを意識し、不安なことは先輩看護師へ相談することで手術後の観察やケア、処置など1、2年目のときよりも自信を持って実施できるようになりました。今年は、体調管理に気をつけ、やりがいを持ち、楽しく看護を行っていきたいです。また、患者・家族への優しい声かけを心がけ、苦痛と不安に寄り添えるような存在になりたいと思います。

今年の抱負

川西湖山病院　若山 歩美

看護師になって15年、現在は外来で働いています。
外来では、短時間であっても患者様の声をしっかり医師に伝え、安心して診察して頂けるよう心掛けています。「若山さん」と声をかけられ、元気な姿を見ると本当に嬉しくなります。
コロナ禍により、生活様式も変化しました。
家で過ごす時間も増えたぶん、今年こそ1000ピースのパズルを家族みんなで完成させるぞ！！

今年の抱負

米沢市立病院　木嶋小百合

丑年の私は、体を動かすのが大好きでじっとしていられず、例えるなら闘牛のような人間でした。大人になるにつれ、乳牛のようにゆったり生きたいと思う今日この頃です。仕事は心体ともに疲れますが、患者さんとの関わりや先輩・仲間と過ごす日々の中で笑顔や元気をもらいながらここまできました。家族にも感謝しています。新型コロナで社会が変化している今こそ、普段通りの日常を過ごせることに感謝し、仕事も私生活も充実した一年にしたいです。

今年の抱負

最上町健康福祉課　東海林久美

日々慌ただしく仕事、家庭のことで走り回っていますが、今回、「抱負」を考える機会をいただき、ふと立ち止まってみました。新型コロナ感染症により生活様式が一変し、日々情報が更新される世の中において、「牛歩」という訳にはいかないのかもしれませんが、先を急がず一歩一歩着実に物事を進める姿勢を忘れずに、また前町長が残した「健康に勝る幸せなし」の言葉を胸に、この一年を乗り越えていきたいと思います。

2021年 今年の抱負

舟山病院　遠藤由美子

2020年は、不本意ながら体調を崩してしまい、仕事もできない期間がありました。家族や職場の方々に助けられ、復帰することができました。本当にありがとうございました。2021年は、食生活に気を付けて、体を動かすような健康的な生活をし、体調管理に努めたいと思います。
もうひとつは、初心を忘れることなく、仕事に向き合うことです。「習うは一生」を、心に留めて働いていきたいです。

支部の

山形支部 山形支部研修会を開催して

山形支部長　吉田美智子

コロナ禍の中いつになったら研修会が、まちの保健室が開催できるのだろうと思っていた中、ようやく研修会を企画することができました。

12月８日（火）「在宅看護の学びを深めよう」をメインテーマに、訪問看護ステーションやまがた山川所長、（株）メディカルメディスン角田連携部部長からご講演をいただきました。短い講演時間でしたが、地域包括ケアシステムにおける在宅看護の実際、今後の地域との連携について伺いました。地域で訪問看護に精通し、在宅医療を支えるお二人の体験を交えた話に耳を傾けました。「いろいろな場所で働くそれぞれの立場を尊重して行きましょう。同じ看護職です。まず私たちが連携し、多職種連携へと発展させていきましょう。」と結ばれました。

再流行の兆しがある中、83名の受講をいただきました。

もう一つの大切な事業「まちの保健室」はまだ開催できていません。常設のところでもなかなか難しい状況ですが、来年3月にはぜひと思っています。

最北支部 研修会を開催して

最北支部 教育委員　伊藤代利子

最北支部では、12月４日（金）第１回支部研修会を開催しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、まちの保健室などは見送りになりました。研修会は参加者に健康確認書記入に協力してもらい、感染対策を十分に行った上で開催しました。

はじめに小松支部長のあいさつの中で、山形県看護協会 井上会長の「心を一つにして新型コロナウイルス感染症を乗り越えよう」と題した資料から、令和2年度の協会活動や感染症に関する取り組みなどの報告がありました。研修会は北村山公立病院 感染管理推進室主任看護師 竹村 憲氏より「新型コロナウイルス感染症（COVD-19)～施設内感染を防ぐためにできること～」と題しご講演をいただきました。医療従事者にとって一番関心のある内容であり、１時間半の講演終了後にも個別相談を行う参加者もいました。感染対策を行いながら、今後も充実した研修会や地域住民の健康増進に役立つような活動に取り組んでいきたいと思います。

いのちの教育推進委員会

『伝えゆくいのちの授業』～「出前授業」を見学して～

副委員長　結城けい子

感染対策をした中での小学５年生への「出前授業」を見学させていただきました。本来ならもっと児童と間近で触れ合い、体験を通して感じることもあっただろうと思いながら見ていました。しかし、限られた条件の中でも講師が伝えたいことは充分に伝わってきました。児童も真剣に話を聞き、先生方も感動して聞き入っているようでした。今後も講義形式の授業が中心となってくると思いますが、いつまでも必要とされる大事な授業であり、私たちは今後も「いのちの大切さ」を伝えていきたいと思います。私はまだ実際に「出前授業」を実施したことはありませんが、今回見学させていただいて、私なりのいのちの授業をぜひやってみたいと強く思いました。これまで出会ってきた患者様との関わりから私が感じたいのちの重み、大切さを伝えていきたいです。今回見学させていただいた講師の生亀さん、学校側の皆様に深く感謝致します。

小学5年生を対象に、「命の誕生の素晴らしさ、自分や周りや人の命の尊さを感じ取る」という内容で、「いのちの学習」の「出前授業」を実施しました。
講師は、性の健康支援ネットワーク会員の生亀さんです。

活　動　状　況

庄内支部　庄内支部の活動報告

庄内支部長　高橋みゆき

庄内支部では今年度、まちの保健室の活動を３回予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべて中止となってしまいました。

鶴岡市小真木原運動場で毎年行われている市民健康の集いも中止となりましたが、市より声をかけていただき、10月１日～31日開催された、「にこふる館内展示及びスタンプラリー」に県看護協会庄内支部まちの保健室として、支部の活動紹介と乳癌についての展示をさせていただきました。

10月のにこふる利用者は3812名とたくさんの方が展示を見学されたとのことで、庄内支部の活動を知っていただく良い機会となりました。

県看護協会が８月より研修を開始した同時期より、支部の活動も再開となり、11月7日（土）三川町いろり火の里なの花ホールで、今年度第１回の研修会を開催しました。コロナ禍の中、日々忙しくストレスを抱えながらがんばっている看護職の方々にむけ「看護職のメンタルヘルス～疲れたココロをストレッチ～」というテーマで山形県立こころの医療センター 精神科認定看護師 若松健也氏よりご講演いただきました。参加者は103名(会員97名 非会員６名)でした。

集合研修を開催するにあたり、感染への不安もありましたが、受付が混雑しないように事前に身体状況を確認する問診表を配布したり、広い会場を確保し机に１人ずつ座る対応を行うなど十分な感染対策を実施し開催しました。

参加者からは、とても興味深い内容で、ストレスをためない方法や対処法など、今後実践できる内容で参考になったとの感想が多くきかれました。

今後も会員のみなさまや地域のみなさまに貢献できるような支部活動をしていきたいと思います。

置賜支部　ACPについて理解を深める －研修会を終えて－

置賜支部長　片倉恵美子

令和２年11月12日、置賜支部の唯一の活動となりました研修会を無事開催することができました。

今年は体温測定や消毒の準備、マスクの着用等感染予防対策を行いながらの研修会となりましたが、三友堂病院よりがん看護専門看護師の重野朋子先生を講師にお招きし、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）についてご講演をいただきました。

研修後半にグループワークで「もしバナゲーム」を行ないました。皆さんは「もしバナゲーム」を行ったことがありますか？この日ははじめての方もいれば、何回か経験した方もいましたが、皆さんがとても表情豊かで楽しい雰囲気で参加されていたのが印象的でした。研修会アンケートでは、もしバナゲームが楽しかった、自分の価値観を知る・家族や患者さんのことを考える良い機会になった等の感想を多数いただきました。人生の終焉をどのように迎えるか、コロナ禍の今、いっそう心に響く研修会となったのではないでしょうか。今後も会員のみなさまからのご意見をもとに、地域住民の方々の健康増進に貢献できるように取り組んでいきたいと思います。

「まちの保健室」推進委員会

ボランティア活動に興味はありませんか？

委員長　柴田治子

「まちの保健室」という言葉を皆様よく耳にすると思います。でも、実際にどのような活動をしているのかわからない方が多いかもしれません。私たち「まちの保健室」推進委員会は、看護の日のイベントや、やまがた健康フェアでの「まちの保健室」の企画運営、支部で実施する「まちの保健室」への参加、そして、一緒に活動してくださる「まちの保健室」ボランティアの募集などを行っています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が中止を余儀なくされ、私たちの活動も、そのほとんどが開催できませんでした。そこで今年度は、マニュアルの見直しを行い、コロナ禍での「新しい生活様式」の中で実施する「まちの保健室」の手順や、ボランティア活動にスムーズに参加できるようにオリエンテーション内容を検討しました。

看護師の資格をお持ちの方でしたらどなたでも登録できます。

地域住民の健康支援のため、お住まいの近くでボランティア活動に参加してみませんか？皆様のご協力をお待ちしています。

山形県ナースセンターだより

～ナースセンターってどんなところ？～

山形県ナースセンターは、山形県より委託を受け、看護職員の確保に関わる事業を行っています。
看護職の定着・確保の「総合拠点」として、関係機関との連携による現場の労働条件改善支援や困った時の相談窓口として、看護職から頼りにされる存在となれるよう、様々な事業を実施しています。

★就業相談事業

無料職業紹介所として相談を行っています。また、看護に関する様々な情報提供やメンタルヘルス相談にも応じており、県内への定着とUターンを支援します。

看護の仕事相談会の様子

★「看護師等の届出制度」の周知と支援活動

看護師等の免許を持っていて、その仕事に就いていない方に離職時に届出をしていただく制度です。届出情報を基に離職中の看護師等の方々とつながりを持ち、それぞれの状況に応じて情報提供や再就業に向けた支援を行っています。

★「eナースセンター」による看護職の再就業支援

看護職・看護学生のお仕事探し、求人施設の人材探しの支援をしています。
ネット上で登録・検索・紹介ができます。メール等で様々な情報をお届けしています。

★ハローワーク等との連携事業

・県内の各ハローワーク等(10か所)で「看護の仕事相談会」を実施しています。
　地域相談員を配置し、求人・求職者に対して、地域に密着した相談会を月1回開催しています。
・ハローワークやまがたと連携して、求人・求職者への就業支援や施設訪問等を行っています。

H31年度
職場説明会の様子

★看護師等職場説明会・看護学校等進学説明会の開催

県内外の看護学生や未就業の方が、求人施設のブースを自由に訪れ、山形県内病院の求人担当者と面談し、採用条件や看護内容、院内教育等の具体的な説明をうけることができます。進学説明会では各学校の担当者より、試験科目や学生生活など、より詳細な情報が得られます。

★潜在看護師等掘り起こし事業

潜在看護師等への情報発信やチラシ作成、マスメディアによる広報を行っています。

★山形県看護職就職ガイドブックの作成

県内医療機関の提供を行い、再就職促進及び看護学生の県内就業、看護職のUターン等の促進を支援します。

★「LINE@」による求人等の情報発信

ナースセンターにおける各種研修会やイベント・救護等の求人情報、看護に関する最新情報など配信しています。

H31年度
ふれあい看護体験の様子

★訪問看護支援事業　★ふれあい看護体験…など

Uターン等相談事業 オンラインで開催しました

山形県ナースセンターでは、遠隔地在住の看護職員のニーズに対応し、Uターン就業者等に関する相談・指導を行うとともに、県内外の看護師等学校養成所関係機関への相談窓口設置のPRのため、県外看護師等学校養成所へ訪問し、就職担当者と面談しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、秋田県・宮城県の計5校の担当者とオンラインで情報交換を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大による学生の抱える悩みや、近年の就職活動状況などを聞くことができ、大変有意義な時間となりました。

未就業または離職される看護職のみなさん！

看護師等の届出サイト とどけるん へ届出しましょう

ライフスタイルに合った働き方をしませんか？

ナースセンターは、あなたのライフスタイルに合った働き方を一緒に考え支援します。登録方法などについては、山形県ナースセンターまでご連絡ください。

〈届出方法〉
① パソコンやスマートフォンからの登録
② ナースセンターによる代理登録
（届出登録用紙は、山形県看護協会のホームページからダウンロードいただくか、山形県ナースセンターまでご連絡ください）
③ 施設による代行届出登録

とどけるんのQRコードはこちら

新型コロナウイルス感染症による感染症対策に関連した

山形県ナースセンターの取り組みについて

全国で新型コロナウイルス感染症が拡大し、看護職員の確保が大きな課題であることが明らかになっています。山形県ナースセンターでは、感染症対策に関連した取り組みの一つとして潜在看護師の把握と復職支援に力を入れています。「看護師等の届出制度（とどけるん）」や「無料職業紹介サイトｅナースセンター」の登録者へメールや電話等で就業意向確認を随時行ったり、新型コロナウイルス感染症に関連する業務に関わらず、看護職の求人募集について現状などを把握し、登録者に紹介しています。詳細についての問合せや、協力の意思を表明する方々から少しずつ反応が寄せられました。

その結果、新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設や保健所、病院等での就業が決定し、日々活躍しています。

～山形県の看護職は、このような場所で活躍しています！～

- 軽症者等宿泊療養施設での健康管理、相談
- 保健所での保健指導、疫学調査の情報処理
- 病院等での検温・患者誘導等、外来勤務

〈実際に就業された方の声〉

予備知識のない一般の方々にとって、未知のウイルス感染はどれだけ怖いことでしょう。
まずは、怖がらなくて良いこと、今まで以上に健康の大切さを認識していただくこと、安心・癒しを提供できるコミュニケーションを心がけています。こういう形での健康支援や他職種の方々とチームを組んでの取り組みを、壁を感じることなく良い雰囲気の中でさせていただいています。
思っていた以上に充実したやりがいを感じる日々です。

看護の仕事相談会 Q&A

「看護の仕事相談会」ってどんな相談ができるの？予約の必要はあるの？…等の疑問をお持ちの方、いらっしゃいませんか？たくさんの方々に「看護の仕事相談会」をご活用いただくために、ご利用者からのお問い合わせが多かった質問をご紹介します。

Q:「看護の仕事相談会」はどこで開催されていますか？

A: 県内8カ所のハローワークと県内2カ所のマザーズジョブサポートの会場をお借りして、開催しています。予定表は、山形県看護協会ホームページをご覧ください。また、予約は必要ありません（混雑時は、お待ちいただくことがあります）。

Q: 看護協会会員じゃないと利用できませんか？

A: 看護協会会員の方も、そうでない方も利用可能です。
個人情報など、秘密は厳守しています。

Q: どんな相談ができますか？相談は無料ですか？

A: お仕事をさがしている方の就業相談、看護職を目指す方の進路相談、ブランクがあって不安をお持ちの方への研修等の紹介、メンタルヘルス相談…等、どんな小さな悩みにも丁寧に対応します。相談は無料です。

Q:「看護の仕事相談会」に行くことができません。他に方法はありますか？

A: 山形市松栄にある山形県看護協会内の「山形県ナースセンター」でも相談を受け付けています。月～金曜の9～16時まで、来所の場合は予約が必要となります。電話やメールでの相談も受け付けています。

Q: 就職活動のために求人情報を知りたいです！

A: 無料職業紹介サイト「ｅナースセンター」を一緒に見ながら、就職活動のアドバイスをします。スマートフォンやパソコンは苦手…という方も安心して相談してください。また、雇用保険受給者は、求職活動に該当します。雇用保険受給資格者証をご持参ください。

Q: 子供連れでの相談は可能？感染予防対策はとられていますか？

A: 子供連れでの相談も大歓迎です。飛沫防止パネルの設置、検温・消毒・換気等の徹底をしていますので、安心していらしてください。

山形県ナースセンター
e-mail : yamagata@nurse-center.net
☎023-646-8878（直通）

理事会等の開催報告

令和2年10月23日（金） 第6回理事会

審議事項
1. 令和3年度山形県看護協会通常総会日程について……〈承認〉
2. 研修受講料納入方法の変更と一般研修受講料等の値上げについて……〈承認〉
3. 令和2年度事業計画及びスケジュール（変更）について……〈承認〉

令和2年11月16日（月） 第1回常務理事会

協議事項
1. 令和3年度山形県看護協会重点事業について……〈承認〉

令和2年12月11日（金） 第7回理事会

審議事項
1. 委員会の廃止と特別委員会の設置について……〈承認〉
2. 訪問看護ステーションやまがたサテライトべにばなの閉鎖について……〈承認〉
3. 令和2年度山形県看護協会上半期事業報告について……〈承認〉
4. 令和2年度山形県看護協会上半期決算報告並びに監査報告について……〈承認〉
5. 令和3年度諮問審議事項について……〈承認〉
6. 令和3年度山形県看護協会重点事業について……〈承認〉
7. 令和3年度山形県看護協会教育計画について……〈承認〉
8. 令和2年度山形県看護協会第2回職能・常任・認定看護管理者教育課程教育運営・推薦委員会及び支部長・副支部長との合同委員会について……〈承認〉
9. 令和3年度山形県看護協会職能・常任・認定看護管理者教育課程教育運営委員の選出について……〈承認〉
10. 令和3年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について……〈承認〉
11. 令和3年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について……〈承認〉
12. 一般研修受講料等の値上げについて……〈承認〉

令和2年10月下旬～令和3年1月中旬の山形県看護協会事業実施状況

令和2年10月23日（金） 令和3年度 山形県看護協会役員等及び日本看護協会代議員・予備代議員選出に関する合同会議
令和2年10月28日（水） 日本看護協会公益法人運営に関する勉強会（Web開催）
令和2年11月　1日（日）～30日（月） 第51回（2020年度）日本看護学会学術集会（Web開催）
令和2年11月　5日（木） 令和2年度 山形県看護協会第1回監査
令和2年11月　5日（木） 令和2年度 山形県ナースセンター事業運営委員会
令和2年11月11日（水） 日本看護協会災害看護担当者会議（Web会議）
令和2年11月13日（金） 4支部会計担当役員との打合せ会
令和2年11月16日（月） 山形県看護協会 第1回常務理事会
令和2年11月17日（火） 訪問看護師養成講習会 実践報告会・閉講式
令和2年11月19日（木） 都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（Web会議）
令和2年11月19日（木） 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 閉講式
令和2年11月25日（水） 日本看護協会看護労働担当者会議（Web会議）
令和2年11月26日（木） 日本看護協会 第5回理事会（Web会議）
令和2年11月27日（金） 日本看護協会法人会員会（Web会議）
令和2年12月15日（火） 訪問看護総合支援センター試行事業ヒアリング（Web）
令和2年12月18日（金） 第3回庄内地域看護管理者ネットワーク会議（Web会議）
令和2年12月24日（木） 地域に必要な看護職確保推進事業（Web会議）
令和3年　1月　15日（金） 都道府県看護協会広報担当役員会議（Web会議）
令和3年　1月　18日（金） 第47回山形県公衆衛生学会第2回運営委員会

勤務環境改善推進委員会よりお知らせ

令和2年度 WLB推進フォローアップワークショップの告知

日　　時：令和３年２月27日（土）13：00～16：00
会　　場：山形県看護協会 第１研修室
研修方法：Zoomによる Web研修
資 料 代：1000円

講演　就業継続が可能な看護職の働き方をめざして
―明日から使える職場のハラスメント対策―

講師　公益社団法人日本看護協会
看護労働・確保対策担当専門職　奥村　元子 様

ワークショップ参加施設の２年目の発表
〈参加施設〉
山形ロイヤル病院・天童温泉篠田病院

研修受講料の値上げと支払い方法の変更について

令和３年４月より、コロナ感染対策の一環として受講料のキャッシュレス化を進めていきます。これまでの現金払いからコンビニ振り込みに変更となります。
これに伴い、受講料値上げが12月の理事会にて承認されました。また、受講申込様式１の一部内容が変更となっていますのでご確認ください。
詳細については、令和３年度教育計画に掲載しますのでご覧ください。

● 令和2年度 会館建設積立金納入状況

（令和2年12月31日現在）

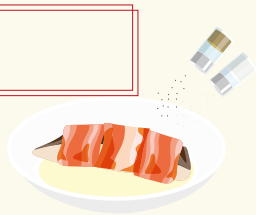
納入人数	金　額	満額納入者
3,338名	16,603,000円	150名

皆様の多大なご協力ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

時短レシピ カンタン! シリーズ 5

鱈のベーコン巻き

鱈にベーコンを巻くだけで、ボリュームUP!
お肉のような食べごたえ!
ぜひお試しください



材　料（2人分）

真鱈	2切れ
ベーコン	4枚
塩コショウ	小々
小麦粉	適宜

作り方

1. 鱈の切り身の骨をとり、塩コショウします。
2. ベーコン1枚ぐるっと巻きます。
3. フライパンにオイルをしきます。
   ベーコンを巻いた鱈に小麦粉をまぶして焼きます。
   ベーコンの巻き終わりを下にしてね!
4. 中火で片面に焼き色がついたらフライ返しでそっと鱈をひっくり返します。
5. 両面にいい焼き色がついたら出来上がり!

編集後記

この1年はコロナウイルスによる影響で委員会活動やイベントなどの自粛など心労が絶えませんでした。今年は年女年男の笑顔のように笑って過ごせるよう１年になることを願っています。

山形いぶき　第152号　編集／広報委員会　発行／令和３年１月31日　公益社団法人山形県看護協会　〒990-2473　山形市松栄1-5-45（アルカディアソフトパーク山形内）TEL023-685-8033